

証券コード 6032
平成28年6月2日

株 主 各 位

東京都港区西新橋一丁目6番21号
株式会社インターワークス
取締役社長 雨宮 玲於奈

事業報告

第26回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第26回定時株主総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討いただき、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示の上、平成28年6月21日（火曜日）午後5時40分までに到着するようご返送くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日 時 平成28年6月22日（水曜日）午前10時（受付開始 午前9時30分）
2. 場 所 東京都港区虎ノ門一丁目23番3号
虎ノ門ヒルズ森タワー 5階 虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール
3. 目的事項
報告事項 1. 第26期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第26期（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）計算書類報告の件
決議事項
第1号議案 取締役7名選任の件
第2号議案 監査役1名選任の件

連結計算書類

計算書類

監査報告

株主総会参考書類

4. 招集にあたっての決定事項

- (1) 議決権行使書用紙において、各議案に賛否の表示が無い場合は、賛成の表示があったものとして取り扱わせていただきます。
- (2) 代理人による議決権行使を行う場合は、代理人は当社の議決権を有する他の株主1名とし、代理権を証明する書面のご提出が必要となります。
- (3) 議決権の不統一行使をされる場合には株主総会の3日前までに、議決権の不統一行使を行う旨とその理由を書面により当社にご通知ください。
- (4) 当社は、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、以下の事項をインターネット上の当社ウェブサイト (<http://interworks.jp>) に掲載しておりますので本招集ご通知の添付書類には、当該事項は記載しておりません。なお、監査役・会計監査人が監査した事業報告、連結計算書類および計算書類は、本株主総会招集ご通知の添付書類に記載の各書類のほかは、上記の当社ホームページに掲載の事項となります。
 - ① 事業報告の「会社の新株予約権等に関する事項」、「会計監査人に関する事項」、「業務の適正を確保するための体制およびその運用状況の概要」、「会社の支配に関する基本方針」
 - ② 連結計算書類の「連結注記表」
 - ③ 計算書類の「個別注記表」

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。本招集ご通知は株主総会当日に会場で配布しませんので、ご出席いただく際は、同封の議決権行使書用紙と併せてご持参くださいますようお願い申し上げます。

株主総会参考書類並びに事業報告、計算書類及び連結計算書類に修正が生じた場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ウェブサイト（アドレス <http://interworks.jp>）に掲載させていただきます。

本株主総会終了後、同会場にて事業方針説明会の開催を予定しておりますので引き続きご出席くださいますようお願い申し上げます。

#### 《 決議通知について 》

当社では、本定時株主総会の決議について、当社ウェブサイト（アドレス <http://interworks.jp>）に掲載する方法によりお知らせいたしますので、予めご了承くださいようお願い申し上げます。

## (添付書類)

**事業報告**

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

**1. 企業集団の現況に関する事項****(1) 当事業年度の事業の状況****① 事業の経過及び成果**

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費が底堅く推移したものの、円安と資源価格安の影響、さらに中国を含めた新興国の成長鈍化の影響を受け、景気の先行きに不透明感が高まりつつある状況です。

一方、当社グループの事業領域である人材ビジネス市場の状況は、平成28年3月の有効求人倍率が1.30倍と平成3年12月以来の水準となり、完全失業率が3.2%となるなど、非常に良好な環境が継続しております。さらに同月の新規求人倍率は1.90倍と高水準を維持し雇用の増加に求職者の数が追いつかない状況です。この労働市場における需給の不均衡は、企業の採用難として顕在化しております。

当社グループの主力事業はインターネット求人メディアの運営であります。社団法人全国求人情報協会が公表した平成27年12月の求人広告掲載件数(求人サイト)は前年同月比12.5%増加し、求人サイトを利用した人材採用が活発になっております。

このような環境の中、各企業で増加する採用需要を受止め、当社グループは主力とするメディア&ソリューション事業がグループの業績を牽引しつつ、人材紹介事業及び採用支援事業においても業績を伸長させております。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は3,799,106千円(前年同期比21.8%増)、営業利益は795,493千円(前年同期比25.9%増)、経常利益は774,118千円(前年同期比23.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は511,942千円(前年同期比25.3%増)となりました。

また当社は、平成26年12月22日のマザーズ市場上場につき、平成27年12月22日に東京証券取引所市場第一部に上場いたしました。東京証券取引所市場第一部上場企業としてさらに重い社会的責任を自覚するとともに、全ての利害関係者(ステークホルダー)との良好な関係を構築し、事業成長を通じて株主の皆様からの期待に応えられるよう努めてまいります。

事業別の状況は次のとおりであります。

メディア&ソリューション事業におきましては、メディアサービスの認知度と利便性の向上及び多くの業種・業態にわたって求職者と求人ニーズを発見し、顕在化させることのできる新しい求人メディア

の企画と展開を課題にしておりました。

認知度と利便性の向上のために、主にWebマーケティングの手法で積極的に広告費を投入し、プロモーション活動を展開すると同時に、主要メディアのリニューアルを実施いたしました。

また、新しい求人メディアの企画と展開につきましては、当連結会計年度におきましても積極的に投資を行い、平成28年1月29日に日本全国にある街角の求人貼り紙を投稿して掲載し、地図上でなぞってアルバイトを探せる求人アプリ「ぼけじょぶ」の提供を開始し、さらに平成28年2月17日に製造業界に特化した転職求人メディア「製造×転職 Makers (メーカーズ)」の提供を開始し、それぞれ収益化に向けた取組みを行っております。

これらの結果、同事業の当連結会計年度の売上高は1,756,643千円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は541,113千円（前年同期比18.3%増）となりました。

人材紹介事業におきましても、企業の活発な採用環境の継続を受け、堅調に業績を伸長させております。当連結会計年度におきましては、成約単価（紹介者一人当たりの紹介手数料）の向上及び前連結会計年度より引き続き取り組んできましたコンサルタント一人あたりの生産性の向上が、一定の成果を実現いたしました。この成果を受けてコンサルタントの採用を強化いたしました。

これらの結果、同事業の当連結会計年度の売上高は748,485千円（前年同期比20.2%増）、セグメント利益は112,094千円（前年同期比83.8%増）となりました。

採用支援事業におきましては、前連結会計年度に就職倫理憲章の変更により、企業の新卒採用に関する広報活動の開始が12月から3月になり、採用選考活動の実施が6月から8月に集中したことで、上半期に役務提供機会が増加し、業績が堅調に推移いたしました。また、企業の新卒採用が落ち着く下半期には、中途採用支援領域を強化したことにより受注が増加して、同事業の業績を牽引いたしました。

これらの結果、同事業の当連結会計年度の売上高は1,293,977千円（前年同期比22.1%増）、セグメント利益は142,283千円（前年同期比25.4%増）となりました。

## 事業別売上高

| 事業区分             | 第25期<br>(平成27年3月期)<br>(前連結会計年度) |       | 第26期<br>(平成28年3月期)<br>(当連結会計年度) |       | 前連結会計年度比増減 |       |
|------------------|---------------------------------|-------|---------------------------------|-------|------------|-------|
|                  | 金額                              | 構成比   | 金額                              | 構成比   | 金額         | 増減率   |
| メディア & ソリューション事業 | 1,437,765千円                     | 46.1% | 1,756,643千円                     | 46.2% | 318,878千円  | 22.2% |
| 人材紹介事業           | 622,904                         | 19.9  | 748,485                         | 19.7  | 125,581    | 20.2  |
| 採用支援事業           | 1,059,650                       | 34.0  | 1,293,977                       | 34.1  | 234,327    | 22.1  |
| 合計               | 3,120,319                       | 100.0 | 3,799,106                       | 100.0 | 678,787    | 21.8  |

## ② 設備投資の状況

当連結会計年度中において実施いたしました当社グループの設備投資の総額は140,866千円で、その主なものは次のとおりであります。

## イ. 当連結会計年度中に完成した主要設備

メディア&ソリューション事業：求人アプリ「ぼけじょぶ」、製造業に特化した転職求人メディア「製造×転職 Makers (メーカーズ)」、働く女性のための派遣求人情報サイト「派遣Style」、日本最大級の求人をまとめて探せる求人情報サイト「しごとま」

## ロ. 当連結会計年度において継続中の主要設備の新設、拡充

メディア&ソリューション事業：「工場WORKS」の機能強化・「工場WORKS」のリニューアル、インターンシップ情報サイト「TryJob」  
共通：基幹システム構築

## ハ. 当連結会計年度中に実施した重要な固定資産の売却、撤去、減失

メディア&ソリューション事業：「Find-u」は当連結会計年度において、収益性が低下し、投資額の回収が見込めなくなったため、当該資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

採用支援事業：東京事務所移転の為、内装の撤去

## ③ 資金調達の状況

該当事項はありません。

## ④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

## (2) 財産及び損益の状況

### ① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                      | 第23期<br>(平成25年3月期) | 第24期<br>(平成26年3月期) | 第25期<br>(平成27年3月期) | 第26期<br>(当連結会計年度)<br>(平成28年3月期) |
|--------------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売上高 (千円)                 | —                  | 2,669,132          | 3,120,319          | 3,799,106                       |
| 経常利益 (千円)                | —                  | 463,522            | 624,634            | 774,118                         |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 (千円) | —                  | 293,441            | 408,482            | 511,942                         |
| 1株当たり当期純利益 (円)           | —                  | 34.62              | 45.05              | 53.40                           |
| 総資産 (千円)                 | —                  | 1,656,266          | 2,474,551          | 2,763,215                       |
| 純資産 (千円)                 | —                  | 1,064,765          | 1,790,354          | 2,160,070                       |
| 1株当たり純資産 (円)             | —                  | 119.42             | 187.93             | 223.54                          |

(注) 1. 当社では、第24期より連結計算書類を作成しております。

2. 当社は、平成26年10月1日付で1株につき2,000株の割合で株式分割を行い、また、平成27年12月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は、株式分割が第24期の期首に行われたものとして算出しております。

### ② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分            | 第23期<br>(平成25年3月期) | 第24期<br>(平成26年3月期) | 第25期<br>(平成27年3月期) | 第26期<br>(当事業年度)<br>(平成28年3月期) |
|----------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------------------|
| 売上高 (千円)       | 1,637,709          | 2,076,159          | 2,070,619          | 2,528,723                     |
| 経常利益 (千円)      | 248,268            | 381,387            | 530,115            | 664,445                       |
| 当期純利益 (千円)     | 138,995            | 227,530            | 363,539            | 460,010                       |
| 1株当たり当期純利益 (円) | 16.85              | 26.84              | 40.09              | 47.99                         |
| 総資産 (千円)       | 1,082,701          | 1,288,193          | 2,089,798          | 2,287,377                     |
| 純資産 (千円)       | 811,516            | 991,041            | 1,671,687          | 1,989,472                     |
| 1株当たり純資産 (円)   | 98.39              | 111.15             | 175.47             | 205.89                        |

(注) 当社は、平成26年10月1日付で1株につき2,000株の割合で株式分割を行い、また、平成27年12月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産は、株式分割が第23期の期首に行われたものとして算出しております。

**(3) 重要な親会社及び子会社の状況**

## ① 親会社の状況

該当事項はありません。

## ② 重要な子会社の状況

| 会社名           | 資本金       | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|---------------|-----------|----------|---------|
| 日本データビジョン株式会社 | 187,050千円 | 100.0%   | 採用支援事業  |

## ③ 事業年度末日における特定完全子会社の状況

該当事項はありません。

## (4) 対処すべき課題

### 事業推進上の課題

#### ① 新しい求人メディアの展開

当社グループは、新しい求人メディアを企画・開発し、求職者と求人企業の双方から評価していただくことにより成長を実現してまいりました。今後もこの成長を実現して行くためには当社グループが新しく発信する求人メディアが評価され、より多くの求職者並びに求人企業に使っていただくために魅力ある求人メディアを創造して行く事が課題であると認識しております。

このため当社グループは様々な働き方を推奨し、求職者と求人企業の双方に利用いただける新しい求人メディア、さらに多くの職種・業種にわたって存在する求職者と求人企業双方のニーズを発見して顕在化させる新しい求人メディアの企画・開発を行い、社会に向けて発信してまいります。

#### ② 製造系求人メディアのシェアアップ

当社の主要求人メディアである「工場WORKS」は、求人企業から支持をいただき毎年掲載社数を増加させております。「工場WORKS」で引続き求人に対する応募者数を増やし、求人企業の満足度を高めることに加え、当連結会計年度より運営を開始した「製造×転職 Makers (メーカーズ)」により中小企業からの求人広告を獲得する事で、この掲載社数の増加を加速させ、製造企業からの求人掲載件数で確固たるシェアを獲得してまいります。

#### ③ Webマーケティングの強化

メディア&ソリューション事業においては、当社の運営する求人メディアの認知度を高めて、求人情報を社会に発信して、求職者からの多数の応募を効率良く獲得する事が課題であると認識しております。

Web上での認知度向上のために、SEM対策（リスティング広告対策）、SEO対策（検索エンジン最適化）だけでなく、コンテンツの拡充や、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）との連携などWebマーケティングの多様化、複線化を実現してまいります。さらに、利便性の向上のために、スマートフォンユーザーに対してユーザーインターフェースを、よりシンプルに求めている情報を取得できるように改善してまいります。

#### ④ 人材紹介事業における収益の改善

人材紹介事業におきましては、コンサルタント一人当たりの生産性の向上に取組み、一定の成果がありました。この課題に継続して取組み、事業の収益性の改善を図ります。このためには成約単価の向上が必要であると認識しており、高年収層（エグゼクティブ）の求人案件をより多く獲得することにより、成約単価の向上を実現してまいります。



⑤ 採用支援事業の季節偏重への対応

採用支援事業においては、新卒採用支援サービスの役務提供機会に季節偏重があります。企業の新卒採用活動が集中する時期に業務が集中する傾向があり、これに対応するため組織体制がこの時期拡大いたします。ノウハウの維持の観点から閑散期においても組織体制を一定レベル維持する必要があります。この点が引続き課題であると認識しております。

この業務の繁閑を是正し、組織体制を効率よく運用するために、年間を通じて稼働できるだけの業務量を確保すべく、通年で採用が行われる中途採用支援サービスの受託に注力してまいります。

⑥ 採用支援事業の役務提供スタッフの確保

採用支援事業においては、役務提供を行う時期が集中する傾向があるため、役務提供量に応じてスタッフを確保する必要があります。この点が課題であると認識しております。スタッフを確保するために、採用を強化するだけでなく、事業部間での人員の異動も含め対応してまいります。

## 組織運営上の課題

① 組織風土の醸成

当社グループは、環境の変化に対応すると同時に変化を事業機会に転換しなければ会社の存続はないと認識しております。これまで当社グループは求人メディアを企画・開発し社会に発信することで成長してまいりました。今後も継続して新規の求人メディアを発信し続ける事が企業成長の課題であります。そのためには、再び、「進取と創業の気風」を組織内に醸成し、当社グループ全体で共有することが必要であると認識しております。引き続き、社員の意識改革を大胆に粘り強く進めてまいります。

② 社員の能力向上とミドルマネジメントの育成

当社グループは事業規模の拡大を続けております。拡大に伴い従業員の数も増加しており、新卒及び中途採用を含めて新入社員の多い組織構成になっております。そのため組織への求心力確保と定着化・戦力化は喫緊の課題であります。OJTによるスキルアップを図ることはもちろん、各事業ごと並びに全社的な研修の機会を設け、企業理念の浸透を図り、当社グループの社員としての自覚と自負を共有してまいります。

企業の強さはミドルマネジメントの強さにあると言われます。当社におきましてもミドルマネジメントの意識改革、スキル向上もまた重要な課題であります。ミドルマネジメントの強化に、より一層の力を傾注してまいります。

③ 情報管理体制の強化

当社グループは、メディア&ソリューション事業、人材紹介事業及び採用支援事業を行っており、多数の求職者（職業紹介希望者、求人案件応募者等）の個人情報を有しているため、情報管理が最重要課題であると認識しております。当社グループにおいては、平成14年より、プライバシーマークを取得し、その制度に適合した個人情報保護マネジメントシステムを構築し運用しております。今後も、社内規程の厳格な運用、定期的な社内教育の実施、セキュリティシステムの整備等を実施し、情報管理体制の維持及び強化を図ってまいります。

(5) 主要な事業内容 (平成28年3月31日現在)

| 事業区分           | 事業内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| メディア&ソリューション事業 | <p>求人メディアとしての求人サイトの広告販売と人材派遣会社及び技術者派遣会社等の人材サービス企業を対象としたホームページ制作等のソリューション商品の販売という2つの商品群を有しております。</p> <p>メディア事業の主力サービスである「工場WORKS」および「製造×転職 Makers (メーカーズ)」は製造業の工場勤務者に特化した求人情報を掲載するサイトです。</p> <p>また、当社の運営するその他のサイト(「アパレルWORKS」、「販売・接客WORKS」)も求人業種や求人職種に特化しております。求人メディアの収入は月単位の広告掲載料であり、掲載する求人情報の枠の大きさ及び数に従い、価格の設定を行っております。</p> |
| 人材紹介事業         | <p>職業安定法に基づく有料職業紹介事業を展開しております。自動車業界、半導体業界を中心とした「製造業界」や「IT・インターネット業界」におけるエンジニア職、プログラマー等の「業界専門職種」、経理・財務、総務・人事等の「管理部門職種」、M&amp;Aや海外事業開拓等の「グローバル職種」というように、業界及び職種ごとに担当組織を編成し、求人企業の中核を担う「ミドルマネジメントからエグゼクティブ」を中心とした、高付加価値人材を正社員として紹介しております。</p>                                                                                     |
| 採用支援事業         | <p>企業の新卒採用や中途採用、アルバイト採用等の採用活動に関する業務を、求人企業ニーズに合わせて、包括的あるいは部分的に請負う企業人事アウトソーシング事業を展開しております。具体的な業務としては、自社メディアや求人ポータルサイトを利用した採用母集団形成のためのプロモーション業務や、会社説明会の企画・運営、選考業務、内定者フォロー等を企業人事に代わり行っております。</p> <p>また、当事業は請負った役務提供を行い、その役務提供の対価を企業より頂いております。</p>                                                                                |

(6) 主要な営業所 (平成28年3月31日現在)

① 当社

|      |                      |
|------|----------------------|
| 本社   | 東京都港区西新橋一丁目6番21号     |
| 大阪支社 | 大阪府大阪市中央区安土町二丁目3番13号 |

② 子会社

|               |                               |
|---------------|-------------------------------|
| 日本データビジョン株式会社 | 本社 (大阪府大阪市中央区)、東京営業所 (東京都中央区) |
|---------------|-------------------------------|

## (7) 使用人の状況（平成28年3月31日現在）

## ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分           | 使用人数    | 前連結会計年度末比増減 |
|----------------|---------|-------------|
| メディア&ソリューション事業 | 68（7）名  | 7名増（-）      |
| 人材紹介事業         | 43（-）   | 1名減（1名減）    |
| 採用支援事業         | 77（41）  | 12名増（23名減）  |
| 報告セグメント計       | 188（48） | 18名増（24名減）  |
| 全社（共通）         | 17（-）   | 1名増（-）      |
| 合計             | 205（48） | 19名増（24名減）  |

- (注) 1. 使用人数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者を除き、グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節従業員を含む。）は、最近1年間の平均人員を（ ）外数で記載しております。
2. 全社（共通）として記載されている従業員数は、管理部門に所属しているものであります。

## ② 当社の使用人の状況

| 使用人数    | 前事業年度末比増減 | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|---------|-----------|-------|--------|
| 128（7）名 | 7名増（1名減）  | 34.6歳 | 3.4年   |

- (注) 使用人数は就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含む。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、人材会社からの派遣社員、季節従業員を含む。）は、最近1年間の平均人員を（ ）外数で記載しております。

## (8) 主要な借入先の状況（平成28年3月31日現在）

| 借入先           | 借入額      |
|---------------|----------|
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 24,084千円 |

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

株式会社東京証券取引所よりご承認頂き、平成27年12月22日付をもちまして、当社株式は株式会社東京証券取引所マザーズから、同取引所市場第一部に市場変更いたしました。

## 2. 会社の現況に関する事項

### (1) 株式の状況（平成28年3月31日現在）

- |            |             |
|------------|-------------|
| ① 発行可能株式総数 | 19,000,000株 |
| ② 発行済株式の総数 | 9,768,000株  |
| ③ 株主数      | 3,178名      |
| ④ 大株主      |             |

| 株 主 名                             | 持 株 数       | 持 株 比 率 |
|-----------------------------------|-------------|---------|
| 株式会社アミューズキャピタル                    | 3,521,800 株 | 36.4%   |
| 日本スタートラスト信託銀行株式会社<br>( 信 託 口 )    | 863,400     | 8.9     |
| 株式会社アミューズキャピタル<br>インベストメント        | 750,000     | 7.8     |
| 中 山 晴 喜                           | 400,000     | 4.1     |
| 有 馬 誠                             | 200,000     | 2.1     |
| 野村信託銀行株式会社（投信口）                   | 196,400     | 2.0     |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社<br>( 信 託 口 ) | 134,600     | 1.4     |
| GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL       | 132,400     | 1.4     |
| MSIP CLIENT SECURITIES            | 124,600     | 1.3     |
| 雨 宮 玲 於 奈                         | 120,000     | 1.2     |

(注) 持株比率は自己株式（105,104株）を控除して計算しております。

### ⑤ その他株式に関する重要な事項

当社株式の1単元あたりの売買価額を下げ、投資しやすい環境を整えることで、当社株式の流動性の向上と株主数の増加を目的として、平成27年12月1日付で、1株につき2株の割合をもって株式分割を実施いたしました。

## (2) 会社役員 の 状況

### ① 取締役及び監査役の状況（平成28年3月31日現在）

| 会社における地位 | 氏 名       | 担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況 |
|----------|-----------|-------------------------|
| 代表取締役社長  | 雨 宮 玲 於 奈 |                         |
| 取締役副社長   | 鳴 澤 淳     | メディア&ソリューション事業部部長       |
| 取 締 役    | 大 平 秀 行   | 管 理 部 門 管 掌             |
| 取 締 役    | 河 村 直 人   | 日本データビジョン株式会社代表取締役社長    |
| 取 締 役    | 中 村 俊 一   | 株式会社アミューズキャピタル代表取締役社長   |
| 取 締 役    | 西 本 甲 介   | 株式会社リョーサン社外取締役          |
| 取 締 役    | 羽 田 祐 一   |                         |
| 常勤監査役    | 丸 田 善 崇   | 日本データビジョン株式会社監査役        |
| 監 査 役    | 野 村 善 英   |                         |
| 監 査 役    | 的 場 正 道   |                         |

- (注) 1. 取締役 西本 甲介氏、羽田 祐一氏の両氏は、社外取締役であります。
2. 監査役 野村 善英氏、的場 正道氏の両氏は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役 丸田 善崇氏は、長年にわたり、経理・財務業務に携わってきており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 監査役 的場 正道氏は、大手銀行における長年の経験があり、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
5. 取締役 西本 甲介氏、羽田 祐一氏及び監査役 的場 正道氏の三氏は、株式会社東京証券取引所の定める独立性の要件を満たしているため、独立役員に指定し、同取引所に届け出ております。
6. 取締役 神村 昌志氏、星 幸宏氏、鎌田 和彦氏は、平成27年6月25日開催の第25回定時株主総会の時をもって任期満了により退任いたしました。
7. 監査役 羽田 祐一氏は、平成27年6月25日開催の第25回定時株主総会の時をもって取締役に就任いたしました。

### ② 責任限定契約の内容の概要

該当事項はありません。

### ③ 取締役及び監査役の報酬等

#### イ. 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区 分                | 員 数       | 報 酬 等 の 額           |
|--------------------|-----------|---------------------|
| 取 締 役<br>(うち社外取締役) | 8名<br>(3) | 58,322千円<br>(9,516) |
| 監 査 役<br>(うち社外監査役) | 4<br>(3)  | 10,250<br>(4,850)   |
| 合 計<br>(うち社外役員)    | 12<br>(6) | 68,572<br>(14,366)  |

- (注) 1. 取締役の報酬限度額は、平成26年6月25日開催の第24回定時株主総会において、年額300,000千円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）とし、監査役の報酬限度額は、年額60,000千円以内と決議いただいております。
2. 上記の取締役及び監査役の支給人員には、平成27年6月25日開催の第25回定時株主総会の時をもって退任した取締役2名及び監査役1名を含んでおります。
3. 羽田 祐一氏は、第25回定時株主総会において監査役を辞任した後、取締役に就任したため、人数および支給額について監査役期間は監査役（社外監査役）に、取締役期間は取締役（社外取締役）に含めて記載しております。

#### ロ. 当事業年度に支払った役員退職慰労金

該当事項はありません。

#### ハ. 社外役員が親会社又は子会社等から受けた役員報酬等の総額

該当事項はありません。

### ニ. 取締役および監査役の報酬等

#### 役員報酬等の額の決定に関する方針

当社の役員報酬については、株主総会の決議された報酬限度額の範囲において、取締役会の一任を受けた代表取締役社長が各取締役会の職務と責任および実績に応じて決定することとしております。また各監査役の報酬額は、会社の業績に影響を受けない定額報酬としており、監査役の協議により決定します。

## ④ 社外役員に関する事項

## イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

社外取締役 西本 甲介氏は、株式会社リョーサンの社外取締役であります。同社と当社の間には特別な関係はありません。

## ロ. 当事業年度における主な活動状況

|                            | 出席状況及び発言状況                                                                                                    |
|----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 西 本 甲 介<br>【 独 立 役 員 】 | 当事業年度に開催された取締役会15回のすべてに出席いたしました。出席した取締役会において、会社経営者としての経験と幅広い見識に基づき、経営全般の観点から適宜発言を行っております。                     |
| 取締役 羽 田 祐 一<br>【 独 立 役 員 】 | 当事業年度に開催された取締役会15回のすべてに出席いたしました。出席した取締役会において、会社経営者としての見地から、取締役会の意思決定について適切で様々な助言・提言を行っております。                  |
| 監査役 野 村 善 英                | 当事業年度に開催された取締役会19回のうち、18回に、また監査役会19回のうち、18回に出席いたしました。出席した取締役会および監査役会において、社外監査役としての立場から適宜発言を行っております。           |
| 監査役 的 場 正 道<br>【 独 立 役 員 】 | 当事業年度に開催された取締役会15回のうち、すべてに、また監査役会15回すべてに出席いたしました。出席した取締役会および監査役会において、グローバル経営の視点から経営全般にわたり意見を述べるなど様々な発言を行いました。 |

- (注) 1. 取締役 西本 甲介氏、羽田 祐一氏、監査役 的場 正道氏は、平成27年6月25日開催の第25回定時株主総会において選任され就任したため、就任後の開催回数及び出席回数を記載しております。
2. 当社では、取締役会に出席できない取締役・監査役に対しても、事前の資料配布や審議事項に関する意見聴取により取締役会での決議・報告事項に関与できる環境を整えております。

## ハ. 主要取引先等特定関係事業者との関係

該当事項はありません。

## ニ. 社外役員の意見により変更された事業方針

該当事項はありません。

### (3) 親会社等との取引に関する事項

該当事項はありません。

### (4) 特定完全子会社に関する事項

該当事項はありません。

### (5) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社の剰余金の配当は株主各位への利益の還元を重視しつつ、将来における企業成長などを総合的に勘案して決定しております。これらの方針に基づき、当期配当は平成28年5月20日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の処分に関する決議をいたしました。当事業年度の期末配当金につきましては、1株につき22.5円（普通配当17.5円、記念配当5円）とさせていただきます。

その結果、当事業年度の配当性向は46.9%となりました。

なお、当社は、剰余金の配当等会社法第459条第1項各号に定める事項につきましては、法令に別段定めのある場合を除き、株主総会の決議によらず取締役会の決議によって行うことができる旨を定款に定めております。また、当社は期末配当の年1回を基本的な方針としておりますが、会社法第454条第5項に規定する中間配当をすることができる旨を定款に定めております。



## 連結貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科目              | 金額               | 科目                 | 金額               |
|-----------------|------------------|--------------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>      |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>2,491,047</b> | <b>流動負債</b>        | <b>596,442</b>   |
| 現金及び預金          | 1,865,091        | 買掛金                | 200,094          |
| 売掛金             | 578,252          | 1年内返済予定の長期借入金      | 22,236           |
| 繰延税金資産          | 16,848           | 未払金                | 131,023          |
| その他             | 31,378           | 未払法人税等             | 137,080          |
| 貸倒引当金           | △ 522            | 解約調整引当金            | 4,344            |
| <b>固定資産</b>     | <b>272,168</b>   | その他                | 101,662          |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>30,533</b>    | <b>固定負債</b>        | <b>6,702</b>     |
| 建物              | 21,264           | 長期借入金              | 1,848            |
| 工具、器具及び備品       | 9,268            | 退職給付に係る負債          | 4,854            |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>170,902</b>   | <b>負債合計</b>        | <b>603,145</b>   |
| のれん             | 36,327           | <b>(純資産の部)</b>     |                  |
| ソフトウェア          | 132,788          | <b>株主資本</b>        | <b>2,159,046</b> |
| その他             | 1,786            | 資本金                | 170,182          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>70,732</b>    | 資本剰余金              | 582,527          |
| 投資有価証券          | 2,174            | 利益剰余金              | 1,413,333        |
| 繰延税金資産          | 9,227            | 自己株式               | △ 6,996          |
| その他             | 73,299           | <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>1,023</b>     |
| 貸倒引当金           | △ 13,968         | その他有価証券評価差額金       | 1,023            |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>       | <b>2,160,070</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>2,763,215</b> | <b>負債純資産合計</b>     | <b>2,763,215</b> |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額       |
|-----------------|-----------|
| 売上高             | 3,799,106 |
| 売上原価            | 1,226,769 |
| 売上総利益           | 2,572,337 |
| 販売費及び一般管理費      | 1,776,844 |
| 営業利益            | 795,493   |
| 営業外収益           |           |
| 受取利息            | 834       |
| 受取配当金           | 56        |
| その他の            | 32        |
| 合計              | 922       |
| 営業外費用           |           |
| 支払利息            | 316       |
| 株式公開費用          | 21,981    |
| 合計              | 22,297    |
| 経常利益            | 774,118   |
| 特別損失            |           |
| 固定資産売却損         | 104       |
| 固定資産除却損         | 256       |
| 減損損失            | 6,385     |
| 事務所移転費用         | 4,536     |
| その他の            | 25        |
| 合計              | 11,307    |
| 税金等調整前当期純利益     | 762,810   |
| 法人税、住民税及び事業税    | 248,923   |
| 法人税等調整額         | 1,945     |
| 当期純利益           | 511,942   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 511,942   |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 連結株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本 |           |           |         |             |
|-------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|
|                         | 資 本 金   | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
| 当期首残高                   | 157,884 | 570,317   | 1,068,112 | △ 6,956 | 1,789,358   |
| 当期変動額                   |         |           |           |         |             |
| 新株の発行（新株予約権の行使）         | 12,298  | 12,210    | －         | －       | 24,508      |
| 剰余金の配当                  | －       | －         | △ 166,721 | －       | △ 166,721   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益         | －       | －         | 511,942   | －       | 511,942     |
| 自己株式の取得                 | －       | －         | －         | △ 40    | △ 40        |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | －       | －         | －         | －       | －           |
| 当期変動額合計                 | 12,298  | 12,210    | 345,220   | △ 40    | 369,688     |
| 当期末残高                   | 170,182 | 582,527   | 1,413,333 | △ 6,996 | 2,159,046   |

|                         | その他の包括利益累計額      |                   | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|-------------------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | その他の包括利<br>益累計額合計 |           |
| 当期首残高                   | 995              | 995               | 1,790,354 |
| 当期変動額                   |                  |                   |           |
| 新株の発行（新株予約権の行使）         | －                | －                 | 24,508    |
| 剰余金の配当                  | －                | －                 | △ 166,721 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益         | －                | －                 | 511,942   |
| 自己株式の取得                 | －                | －                 | △ 40      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 28               | 28                | 28        |
| 当期変動額合計                 | 28               | 28                | 369,716   |
| 当期末残高                   | 1,023            | 1,023             | 2,160,070 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

## 貸借対照表

(平成28年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科目              | 金額               | 科目              | 金額               |
|-----------------|------------------|-----------------|------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                  | <b>(負債の部)</b>   |                  |
| <b>流動資産</b>     | <b>1,839,208</b> | <b>流動負債</b>     | <b>297,905</b>   |
| 現金及び預金          | 1,530,844        | 買掛金             | 45,960           |
| 売掛金             | 276,290          | 未払金             | 68,335           |
| 前払費用            | 14,678           | 未払費用            | 22,396           |
| 未収入金            | 5,214            | 未払法人税等          | 99,104           |
| 繰延税金資産          | 10,158           | 未払消費税           | 35,020           |
| その他             | 2,545            | 前受金             | 10,300           |
| 貸倒引当金           | △ 523            | 預り金             | 12,441           |
| <b>固定資産</b>     | <b>448,169</b>   | 解約調整引当金         | 4,344            |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>19,638</b>    | <b>負債合計</b>     | <b>297,905</b>   |
| 建物              | 14,598           | <b>(純資産の部)</b>  |                  |
| 工具、器具及び備品       | 5,040            | <b>株主資本</b>     | <b>1,988,448</b> |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>128,201</b>   | <b>資本金</b>      | <b>170,182</b>   |
| 商標権             | 541              | <b>資本剰余金</b>    | <b>574,715</b>   |
| ソフトウェア          | 126,786          | 資本準備金           | 143,585          |
| その他             | 873              | その他資本剰余金        | 431,130          |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>300,328</b>   | <b>利益剰余金</b>    | <b>1,250,546</b> |
| 投資有価証券          | 2,174            | 利益準備金           | 7,500            |
| 関係会社株式          | 254,798          | その他利益剰余金        | 1,243,046        |
| 破産更生債権          | 13,968           | 別途積立金           | 7,000            |
| 繰延税金資産          | 6,881            | 繰越利益剰余金         | 1,236,046        |
| 敷金及び保証金         | 35,938           | <b>自己株式</b>     | <b>△ 6,996</b>   |
| その他             | 536              | <b>評価・換算差額等</b> | <b>1,023</b>     |
| 貸倒引当金           | △ 13,968         | その他有価証券評価差額金    | 1,023            |
|                 |                  | <b>純資産合計</b>    | <b>1,989,472</b> |
| <b>資産合計</b>     | <b>2,287,377</b> | <b>負債純資産合計</b>  | <b>2,287,377</b> |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切捨てて表示しております。

## 損益計算書

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

| 科 目          | 金 額       |
|--------------|-----------|
| 売上高          | 2,528,723 |
| 売上原価         | 451,925   |
| 売上総利益        | 2,076,798 |
| 販売費及び一般管理費   | 1,475,021 |
| 営業利益         | 601,776   |
| 営業外収益        |           |
| 受取利息         | 771       |
| 受取配当金        | 32,415    |
| 関係会社手数料      | 51,430    |
| その他の         | 32        |
| 営業外費用        |           |
| 株式公開費用       | 21,981    |
| 経常利益         | 664,445   |
| 特別損失         |           |
| 固定資産売却損      | 104       |
| 固定資産除却損      | 113       |
| 減損損失         | 5,735     |
| その他の         | 25        |
| 税引前当期純利益     | 658,466   |
| 法人税、住民税及び事業税 | 195,656   |
| 法人税等調整額      | 2,799     |
| 当期純利益        | 460,010   |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切捨てて表示しております。

## 株主資本等変動計算書

(平成27年4月1日から  
平成28年3月31日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本 |           |                |               |           |                |               |           |         | 株主資本計     |
|-------------------------|---------|-----------|----------------|---------------|-----------|----------------|---------------|-----------|---------|-----------|
|                         | 資本金     | 資 本 剰 余 金 |                |               | 利 益 剰 余 金 |                |               | 自己株式      |         |           |
|                         |         | 資 本 準備金   | その 他 本 資 剰 余 金 | 資 本 剰 余 金 合 計 | 利 益 準備金   | その 他 利 益 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 合 計 |           |         |           |
|                         |         |           |                |               |           | 別 途 積 立 金      | 繰 越 利 益 剰 余 金 |           |         |           |
| 当期首残高                   | 157,884 | 131,375   | 431,130        | 562,505       | 7,500     | 7,000          | 942,757       | 957,257   | △ 6,956 | 1,670,691 |
| 当期変動額                   |         |           |                |               |           |                |               |           |         |           |
| 新株の発行（新株<br>予約権の行使）     | 12,298  | 12,210    | —              | 12,210        | —         | —              | —             | —         | —       | 24,508    |
| 剰余金の配当                  | —       | —         | —              | —             | —         | —              | △ 166,721     | △ 166,721 | —       | △ 166,721 |
| 当期純利益                   | —       | —         | —              | —             | —         | —              | 460,010       | 460,010   | —       | 460,010   |
| 自己株式の取得                 | —       | —         | —              | —             | —         | —              | —             | —         | △ 40    | △ 40      |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） | —       | —         | —              | —             | —         | —              | —             | —         | —       | —         |
| 当期変動額合計                 | 12,298  | 12,210    | —              | 12,210        | —         | —              | 293,289       | 293,289   | △ 40    | 317,757   |
| 当期末残高                   | 170,182 | 143,585   | 431,130        | 574,715       | 7,500     | 7,000          | 1,236,046     | 1,250,546 | △ 6,996 | 1,988,448 |

|                         | 評 価 ・ 換 算 差 額 等        |                     | 純 資 産 合 計 |
|-------------------------|------------------------|---------------------|-----------|
|                         | その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金 | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計 |           |
| 当期首残高                   | 995                    | 995                 | 1,671,687 |
| 当期変動額                   |                        |                     |           |
| 新株の発行（新株<br>予約権の行使）     | —                      | —                   | 24,508    |
| 剰余金の配当                  | —                      | —                   | △ 166,721 |
| 当期純利益                   | —                      | —                   | 460,010   |
| 自己株式の取得                 | —                      | —                   | △ 40      |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額（純額） | 28                     | 28                  | 28        |
| 当期変動額合計                 | 28                     | 28                  | 317,785   |
| 当期末残高                   | 1,023                  | 1,023               | 1,989,472 |

(注) 記載金額は千円未満の端数を切捨てて表示しております。

## 連結計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成28年5月18日

株式会社インターワークス  
取締役会 御中

## 有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 山 本 守 ㊟  
業務執行社員指定有限責任社員 公認会計士 神 宮 厚 彦 ㊟  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社インターワークスの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

## 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

## 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社インターワークス及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 計算書類に係る会計監査報告

## 独立監査人の監査報告書

平成28年5月18日

株式会社インターワークス  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 山 本 守 ㊟  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 神 宮 厚 彦 ㊟  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社インターワークスの平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第26期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

### 計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上



## 監査役会の監査報告

### 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第26期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門、その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社からなる企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成28年5月19日

株式会社インターワークス 監査役会

常勤監査役 丸 田 善 崇 (印)

社外監査役 野 村 善 英 (印)

社外監査役 的 場 正 道 (印)

以 上

## 株 主 総 会 参 考 書 類

### (議案及び参考資料)

#### 第1号議案 取締役7名選任の件

取締役7名全員は、本定時株主総会終結の時をもって、任期満了となります。

つきましては取締役7名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番号 | ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                                                                                       | 略 歴、 当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1         | あ め み や れ お な<br>雨 宮 玲 於 奈<br>(昭和50年4月3日)<br><br>所有する当社の株式数<br>120,000株<br>取締役在任期間<br>(本株主総会終結時)<br>2年5カ月                                                                                         | 平成10年4月 (株)光通信 入社<br>平成15年6月 (株)リクルートエイブリック (現 (株)リクルートキャリア) 入社<br>平成17年12月 (株)日本医療情報センター (現 (株)リクルートメディカルキャリア) 代表取締役<br>平成24年4月 (株)リクルートエージェント (現 (株)リクルートキャリア) 中途事業本部 領域企画統括部 執行役員<br>平成25年4月 (株)リクルートホールディングス 国内事業統括室 カンパニーパートナー<br>平成25年4月 (株)スタッフサービス・ホールディングス 取締役<br>平成25年4月 (株)リクルートスタッフィング 取締役<br>平成25年12月 当社 入社<br>平成26年1月 当社 取締役副社長<br>平成26年4月 当社 代表取締役社長 (現任) |
|           | 取締役候補者とした理由<br>雨宮 玲於奈氏は、当社の代表取締役社長に就任以来、当社グループを牽引し、業績の伸長に貢献し、企業価値の向上に尽力いたしました。また、当社が東京証券取引所市場第一部への上場を実現する上で中心的役割を果たしております。同氏が引き続き経営の指揮を執ることが、平成28年度から始動する中期経営計画の実現に向けて最適であると判断しましたので取締役候補者いたしました。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                                    | ふりがな氏名<br>(生年月日)                                                                                     | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2                                                                                                                                                                                                                        | なる さいわ じゅん<br>鳴 澤 淳<br>(昭和46年11月25日)<br><br>所有する当社の株式数<br>40,000株<br>取締役在任期間<br>(本株主総会終結時)<br>2年11カ月 | 平成8年4月 (株)ノグチ 入社<br>平成12年8月 (株)ベンチャー・リンク 入社<br>平成19年6月 (株)ネットプライスドットコム (現 BEENOS(株)) 入社<br>平成23年11月 当社 入社<br>平成23年11月 当社 事業推進・開発室 室長<br>平成24年1月 当社 メディア&ソリューション事業部部长兼戦略開発部部长<br>平成25年7月 当社 取締役<br>平成26年4月 当社 取締役副社長(現任)<br>平成27年4月 当社 メディア&ソリューション事業部部长                             |
| 取締役候補者とした理由                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>鳴澤 淳氏は、当社の取締役として取締役会で積極的に発言し、経営の重要事項に関する意思決定に参加しております。また、副社長として新規事業の開発とその収益化に責任を持ち、事業の構築・稼働に取り組んでおります。平成24年度より当社の主力事業であるメディア&amp;ソリューション事業の責任者として同事業における事業戦略の立案・推進を担当してまいりました。これらのことから、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者にいたしました。</p> |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 3                                                                                                                                                                                                                        | おお ひら ひで ゆき<br>大 平 秀 行<br>(昭和37年9月9日)<br><br>所有する当社の株式数<br>76,000株<br>取締役在任期間<br>(本株主総会終結時)<br>9年7カ月 | 平成2年9月 K. P. M. G センチュリー監査法人 入社<br>平成5年10月 (株)東亜経営総研 入社<br>平成9年5月 (株)アイ・ピー・エス 入社<br>平成13年10月 同社 経営管理本部長<br>平成16年1月 同社 取締役<br>平成18年8月 当社 入社 経営本部長<br>平成18年11月 当社 取締役経営本部長<br>平成20年4月 当社 取締役経営企画管理本部長<br>平成21年2月 当社 取締役経営管理本部長<br>平成27年4月 当社 取締役(管理部門管掌)<br>平成28年4月 当社 取締役経営管理本部長(現任) |
| 取締役候補者とした理由                                                                                                                                                                                                              |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| <p>大平 秀行氏は、当社の取締役として取締役会で積極的に発言し、経営の重要事項に関する意思決定に参加しております。また、上記略歴に記載のとおり、経営管理分野における経験と見識を有しております。これらのことから、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者にいたしました。</p>                                                                                 |                                                                                                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

| 候補者番号 | ふりがな氏名<br>(生年月日)                                                                                         | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4     | <p>かわむらなおと<br/>河村直人<br/>(昭和39年9月30日)</p> <p>所有する当社の株式数<br/>80,000株<br/>取締役在任期間<br/>(本株主総会終結時)<br/>7年</p> | <p>昭和62年4月 日本ハム(株) 入社<br/>平成元年10月 (株)テンポラリーエルダー (現 ランスタッド(株)) 入社<br/>平成10年7月 (株)ホーム・コンピューティング・ネットワーク 代表取締役<br/>平成19年4月 (株)J o b b y 設立 代表取締役<br/>平成21年4月 当社 入社<br/>平成21年6月 当社 代表取締役社長<br/>平成26年8月 当社 取締役会長<br/>日本データビジョン(株) 代表取締役社長 (現任)<br/>平成28年4月 当社 取締役 (現任)<br/>(重要な兼職の状況) 日本データビジョン(株) 代表取締役社長</p> <p>取締役候補者とした理由<br/>河村 直人氏は、当社の取締役として取締役会で積極的に発言し、経営の重要事項に関する意思決定に参加しております。また、当社の子会社である日本データビジョン株式会社の代表取締役社長に就任後、採用支援事業を牽引し、同事業を伸長させました。これらのことから、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者にいたしました。</p> |
| 5     | <p>よしむらなおき<br/>吉村直樹<br/>(昭和54年6月11日)</p> <p>【新任】<br/>所有する当社の株式数<br/>一株</p>                               | <p>平成15年7月 アクセンチュア(株) 入社<br/>平成17年9月 (株)レイアンドベルンソン 入社<br/>平成18年3月 レイス(株) 入社 ゼネラルマネジャー<br/>平成21年10月 (株)プライム・データ・マーケティング 代表取締役<br/>平成24年11月 キー・ネットワーク(株) 代表取締役<br/>コミュニケーションデザイン(株) 代表取締役<br/>平成27年10月 当社 入社<br/>平成28年4月 当社 HRコンサルティング事業部部長 (現任)</p> <p>取締役候補者とした理由<br/>吉村 直樹氏は、人材業界における幅広い知識と実績に加え、事業会社の代表取締役を兼務される経験を有しております。また、当社の人材紹介事業において、事業戦略をさらに発展させるため、候補者の豊富な知識と経験を最大限役立てることが当社グループにとって最適であると判断しましたので、取締役会は、同氏を取締役候補者いたしました。</p>                                                |

| 候補者<br>番号                                                                                                                                                  | ふ り が な<br>氏 (生 年 月 日) 名                                                                            | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6                                                                                                                                                          | なか むら しゅん いち<br>中 村 俊 一<br>(昭和22年2月8日)<br><br>所有する当社の株式数<br>100,000株<br>取締役在任期間<br>(本株主総会終結時)<br>7年 | 昭和45年9月 コンピュータサービス(株) (現 SCSK(株)) 入社<br>昭和58年4月 (株)セガ・エンタープライゼス (現 (株)セガホールディングス)<br>取締役<br>平成13年6月 (株)セガ (現 (株)セガホールディングス) 専務執行役員CFO<br>コーポレート統括本部長<br>平成15年6月 (株)セガトイズ 取締役副社長<br>平成18年3月 (株)アミューズキャピタル 専務取締役<br>平成18年6月 当社 監査役<br>平成19年2月 (株)ライブウェア (現 (株)マーベラス) 代表取締役社長<br>平成19年6月 ONE-UP(株) (現 (株)ジー・モード) 取締役 (非常勤)<br>平成21年6月 当社 取締役 (現任)<br>(株)AQインタラクティブ (現 (株)マーベラス) 社外取締役<br>平成23年4月 (株)アミューズキャピタル 代表取締役社長 (現任)<br>平成23年10月 (株)マーベラスAQL (現 (株)マーベラス) 取締役 (現任)<br>平成26年8月 (株)コンフィデンス 取締役 (現任)<br>(重要な兼職の状況) (株)アミューズキャピタル 代表取締役社長 |
| 取締役候補者とした理由<br>中村 俊一氏は、当社の取締役として取締役会で積極的に発言し、経営の重要事項に関する意思決定に参加しております。また、経営者として十分な実績を有しており、その実績を活かして当社事業の発展に寄与してまいりました。これらのことから、取締役会は同氏を引き続き取締役候補者にいたしました。 |                                                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |

| 候補者番号                                                                                                                                                                                                                                                                 | ふりがな<br>氏名<br>(生年月日)                                                                                                        | 略歴、当社における地位及び担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7                                                                                                                                                                                                                                                                     | にしもと こうすけ<br>西本 甲介<br>(昭和33年3月1日)<br><br>【社外取締役候補者】<br>【独立役員候補者】<br><br>所有する当社の株式数<br>2,000株<br>取締役在任期間<br>(本株主総会終結時)<br>1年 | 昭和59年9月 (株)メイテック 入社<br>平成7年6月 同社 取締役人事部長<br>平成8年7月 同社 専務取締役人事部長兼経理部長<br>平成11年11月 同社 代表取締役社長 事業部門管掌<br>平成12年2月 (株)ジャパンキャスト (現 (株)メイテックキャスト) 代表取締役会長<br>平成12年4月 (株)ジャパンアウトソーシング (現 (株)メイテックフィルダーズ) 代表取締役会長<br>平成15年4月 (株)メイテック 代表取締役社長 CEO (最高経営責任者) 兼COO (最高執行責任者)<br>平成18年4月 メイテックグループCEO (最高経営責任者)、派遣事業グループCEO (最高経営責任者) 兼エンジニアリングソリューション事業グループCEO (最高経営責任者)、同社CEO (最高経営責任者) 兼COO (最高執行責任者)<br>平成19年2月 有限責任中間法人日本エンジニアリングアウトソーシング協会 (現 一般社団法人日本エンジニアリングアウトソーシング協会) 代表理事<br>平成26年6月 (株)メイテック 取締役会長<br>平成27年6月 (株)リョーサン 取締役 (現任)<br>当社 取締役 (現任)<br>平成28年5月 いちごグループホールディングス(株) 取締役 (現任)<br>(重要な兼職の状況) (株)リョーサン 社外取締役<br>いちごグループホールディングス(株) 社外取締役 |
| 社外取締役候補者とした理由<br>西本 甲介氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者です。同氏は株式会社メイテックの代表取締役社長を長期にわたって務められました。その中で培った人材ビジネスに関する豊富な経験と経営全般にわたる知見を有しております。当社の社外取締役および独立役員として取締役会で積極的に発言し、経営の重要事項の決定および業務執行に対する監督など適切な役割を果たしています。昨年に引き続き社外取締役として当社の経営を監督することが最適であると判断しましたので社外取締役候補者となりました。 |                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |

- (注) 1. 各取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
2. 西本 甲介氏は、会社法施行規則第2条第3項第7号に定める社外取締役候補者であります。また、同氏は、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出ております。

同氏は、当社又は当社の子会社の業務執行者又は役員であったことはなく、また過去5年間に当社の親会社等であった事実もありません。

3. 同氏は、取締役としての報酬等を除き、当社又は当社の特定期間事業者から多額の金銭その他財産を受ける予定はなく、また過去2年間に受けていた事実はありません。
4. 同氏は、当社又は当社の特定期間事業者の業務執行者または役員の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずるものではありません。

## 第2号議案 監査役1名選任の件

監査役野村 善英氏は、本総会終結の時をもって辞任されますので、監査役1名の選任をお願いするものであります。なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

| ふ り が な<br>氏 名<br>(生 年 月 日)                                                                                                               | 略 歴、当 社 に お け る 地 位 及 び 担 当<br>( 重 要 な 兼 職 の 状 況 )                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <small>たか くら きよし</small><br>高 倉 潔<br>(昭和34年8月25日)<br><br><b>【新任】</b><br><b>【社外監査役候補者】</b><br>所有する当社の株式数<br>一株                             | 昭和58年4月 (株)太陽神戸銀行 (現 (株)三井住友銀行) 入行<br>平成15年4月 (株)三井住友銀行 横浜支店長<br>平成24年4月 同行 監査部上席考査役<br>平成25年4月 (株)陽栄ホールディング 顧問<br>平成25年6月 陽光ビルME(株) 執行役員経営管理部長<br>平成26年6月 陽光ビルME(株) 取締役兼常務執行役員<br>平成27年11月 (株)陽栄 顧問 (現任)<br>平成27年12月 (株)アミューズキャピタル 入社 管理部長 (現任) |
| 社外監査役候補者として選任した理由<br>高倉 潔氏は、大手銀行において長年の経験を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有し、当社の監査において経営全般の監査と有効な助言を期待し、社外監査役としてその職務を適切に遂行していただけるものと判断したためであります。 |                                                                                                                                                                                                                                                  |

- (注) 1. 高倉 潔氏は、新任の社外監査役候補者であります。
2. 監査役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
  3. 高倉 潔氏は、当社又は当社の子会社の業務執行者又は役員であったことはなく、また過去5年間に当社の親会社等であった事実もありません。
  4. 同氏は、当社又は当社の特定期間事業者からの多額の金銭その他財産を受ける予定はなく、また過去2年間に受けていた事実はありません。
  5. 同氏は、当社又は当社の特定期間事業者の役員の配偶者、三親等以内の親族その他これに準ずるものではありません。

以 上



メ モ

A series of 18 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending across the width of the page. These lines are intended for handwriting practice, specifically for the characters 'メ' and 'モ'.

メ モ

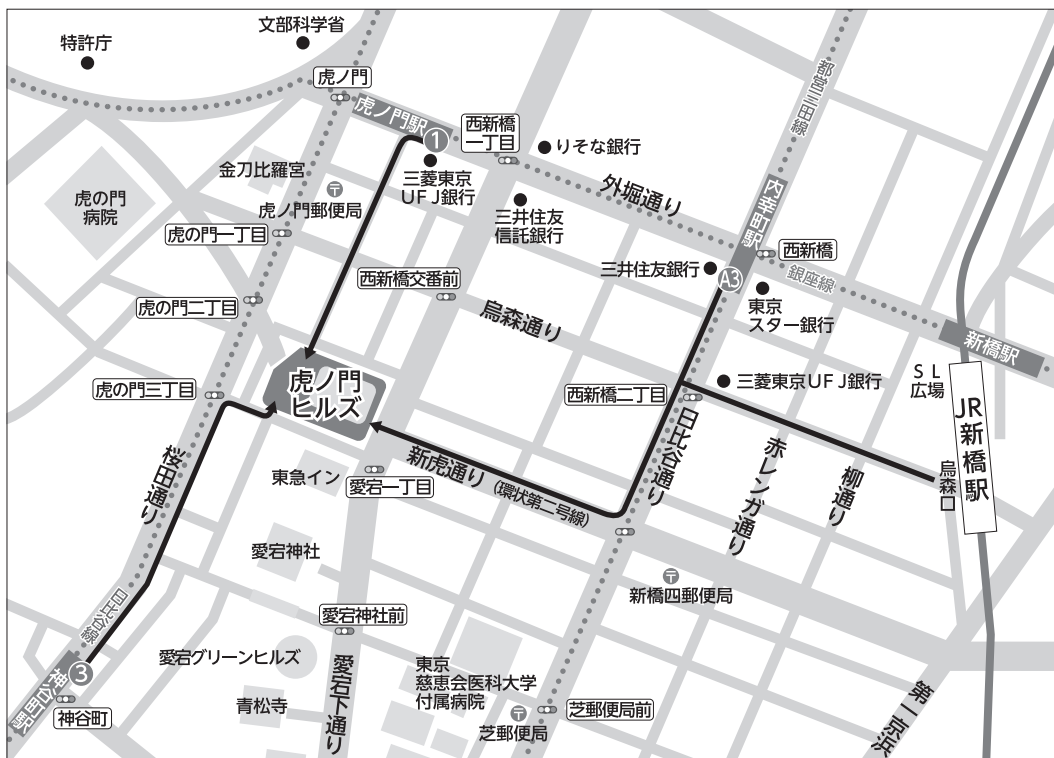
A series of 18 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending across the width of the page. These lines are intended for handwriting practice, providing a guide for letter height and placement.

メ モ

A series of 18 horizontal dashed lines, evenly spaced, extending across the width of the page. These lines are intended for handwriting practice, providing a guide for letter height and placement.

# 株主総会会場ご案内図

会場：東京都港区虎ノ門一丁目23番3号 虎ノ門ヒルズ森タワー5階  
虎ノ門ヒルズフォーラム メインホール



交通：銀座線「虎ノ門駅」1番出口 徒歩約5分

日比谷線「神谷町駅」3番出口 徒歩約6分

千代田線、丸ノ内線、日比谷線「霞ヶ関駅」A12番出口 徒歩約8分

都営三田線「内幸町」A3出口 徒歩約8分

※駐車場の用意はいたしておりませんので、お車でのご来場はご遠慮下さいますようお願い申し上げます。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。